

院外処方せんに記載されている検査値一覧表（基準値：2026年4月現在）

項目	検査名称	基準値	項目の説明
WBC	白血球数	33～86 × 10 ² /μL	白血球は、細菌やウイルスの侵入に対し体を守る働きをします。一般的に、細菌感染で増加、ウイルス感染で低下します。
Hb	ヘモグロビン	(男)13.7～16.8 g/dL (女)11.6～14.8 g/dL	赤血球に含まれる鉄分を含む色素タンパク質で、酸素や二酸化炭素と結合し、体内でのガス交換に関与します。
PLT	血小板数	15.8～34.8 × 10 ⁴ /μL	出血した時に血を止める働きをします。
INR	プロトロンビン時間(標準比)	—	主に経口抗凝固療法(ワルファリン)の指標として用いられます。
AST	アスパラギン酸 アミノトランスフェラーゼ	13～30 IU/L	肝臓、心筋、骨格筋に多く含まれている酵素で、その臓器が障害を受けたりすると、細胞から血液中に漏れ出てくる酵素(逸脱酵素)です。
ALT	アラニン アミノトランスフェラーゼ	(男)10～42 IU/L (女)7～23 IU/L	ほとんどが肝臓に存在する逸脱酵素で、肝臓の病態の把握に有用です。
T-Bil	総ビリルビン	0.4～1.5 mg/dL	ビリルビンは、胆汁の主要な色素で、肝細胞障害や肝・胆道系疾患ではビリルビンの抱合や排泄に障害が起こり、黄疸などが現れます。
CRE	クレアチニン	(男)0.65～1.07 mg/dL (女)0.46～0.79 mg/dL	筋肉中のエネルギー源となっている物質の老廃物で、腎臓により排泄されます。主に腎臓機能の把握に有用です。
eGFR	糸球体濾過推算値	90 mL/分/1.73m ² 以上 (20歳以下は適応外)	CRE値と年齢・性別から算出します。腎糸球体濾過機能の把握に有用です。
CK	クレアチンキナーゼ	(男)59～248 U/L (女)41～153 U/L	骨格筋、心筋、脳、平滑筋に高濃度に存在する逸脱酵素です。
CRP	C反応性蛋白	0～0.14 mg/dL	各種炎症の診断や経過観察などに極めて有用です。
K	カリウム	3.6～4.8 mmol/L	細胞内に多く含まれ、細胞破壊時や、腎障害で排泄が低下した時に上昇します。
HbA1c	ヘモグロビンエー・ワン・シー	4.9～6.0%	過去1～2か月間の血糖コントロール状態の把握に有用です。